

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆日銀、物価見通しを上方修正 26年度は2.8%に

・日銀は金融政策決定会合で4月の「経済・物価情勢の展望(展望レポート)」をまとめた。2026年度の生鮮食品を除く消費者物価指数(CPI)の上昇率の見通しを2.8%と、前回の1月時点から0.9ポイント引き上げ。中東情勢の緊迫による原油価格上昇の影響を反映した。27年度の物価見通しは2.3%と、0.3ポイント引き上げた。

◆家族手当「短時間労働者にも」厚労省、同一労働同一賃金の指針改正

・厚生労働省は正社員と非正規労働者の間に不合理な待遇格差を設けることを禁じた「同一労働同一賃金制度」の指針を初めて改正。継続的に働く短時間労働者らに正社員並みの家族手当を支給するよう求める。10月から適用する。契約社員やパートタイム労働者、派遣労働者らを念頭に置く。

◆26年度働き方改革助成金の受付開始 賃上げ加算を拡充

・厚生労働省は2026年度の「働き方改革推進支援助成金(労働時間短縮・年休促進支援コース)」の申請受付を開始。働き方改革の推進に向けて、時間外労働の上限設定、年次有給休暇・特別休暇の取得促進などに取り組む中小企業を支援。就業環境の整備に必要な研修や労働時間の管理適正化に資する機械・器具の導入などに対して助成金支給。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ナフサ不足で中国化学品の輸入急増 ブラ原料3割増、6年ぶり品目も

・中東危機をきっかけに中国からの化学品輸入が急増している。ナフサ(粗製ガソリン)不足で国産化学品の品薄が懸念されるなか、プラスチックやタイヤの原料を中国から代替調達する動きが広がる。緊急措置の側面もあるが、割安な中国原料の輸入が常態化すれば日本企業が顧客を奪われる可能性がある。

◆中東からのナフサ輸入4割減、3月貿易統計 エチレン生産稼働率も低迷

・財務省が発表した3月の貿易統計(確速値)によると、中東から輸入するナフサ(粗製ガソリン)の量が前年同月から40.0%減。米イランの軍事衝突によるホルムズ海峡の事実上の封鎖が響いた。貿易統計によると、中東からの輸入量は82万6860キロリットルで2022年3月以来の低水準に落ち込んだ。日本はナフサの輸入の7割を中東諸国に依存。

◆「住宅省エネキャンペーン」リフォーム向け販促チラシを公開

・国土交通省・経済産業省・環境省の3省連携による「住宅省エネ2026キャンペーン」事務局はリフォーム向け事業の周知チラシ(PDF)を公表。同事務局では施主への説明や営業・販促活動などでの活用を呼び掛けている。ツールダウンロードページから入手できる。各事業の助成内容や補助金受け取りの流れ、事業ホームページなどを紹介。

《 注目商品 》

■三協立山・三協アルミ社、高遮熱でマットな質感のカーポート屋根

・カーポートの屋根材として、マットな質感と高遮熱性能をあわせもつ業界初の「シルバーポリカーボネート板」をラインナップ。暑さの原因となる赤外線の熱量を約81%カットして車内温度の上昇を抑制。高級感と洗練されたデザインを実現。



■TOTO、造作風洗面化粧台に新アイテム・新色を追加

・洗面ボウル、水栓金具、カウンター、鏡、キャビネットを組み合わせて造作したようなデザインを実現できる洗面化粧台「drena(ドレーナ)」を4年ぶりにモデルチェンジして発売。洗面台下に新たに「オープンキャビネット」をラインアップ、効率よくモノを出し入れできる。



■アイリスオーヤマ、ビルトイン食器洗い乾燥機「LiBish slim30」

・ビルトイン食器洗い乾燥機市場に新規参入し、日本国内の業界最小幅30cmで6人分の大容量を実現した「LiBish slim30(リビッシュ スリムサーティ)」を発売。狭小キッチンでも設置やすく、一般的な45cm幅の製品に比べて2Lペットボトル6本分のスペースを有効活用。

